四国森林管理局 森林技術・支援センター

# 次世代につなげる森林づくり

NO.２９号

平成 28 年 12 月 19 日

## ◆平成二十八年度第二回「国有林モニター勉強会」において、シカ小型囲いわな」の実演を行いました。

◆十二月一日、局主催による「国有林モニター勉強会」（モニターに委嘱した四国四県在住の十六名の皆さんが対象）が、四万十森林管理署管内の払川山国有林（四万十町）において、当該署の職員も参加して開催されました。

◆このモニター勉強会は、国有林の一連の業務や四国の森林への理解を深めることを目的として、毎年（年二回）実施しています。

◆今年二回目となる今回は、地域活性化に資する森林資源の循環利用をテーマに、木材生産と森林管理について、間伐とシカ被害対策の現場の見学を通じて理解頂くという内容で実施されました。

◆当センターからは、開発した「小型囲いわな」の組立等を実演し、併せて、わなが軽量で移動が楽等の特徴、林道沿いのシカの痕跡の多い箇所への設置やシカの行動・生息状況・食害状況などについても説明しました。

◆モニターの皆さんは、囲いわなを初めて見る方も多く、簡単に組立される実演では一同驚いた様でした。また、わなの構造・仕掛けの作動方法、誘引餌（えさ）の種類、まき方等についての質問もあり、熱心にメモを執られていました。

シカ囲いワナ組立の実演

ワナの構造は？熱心なモニター

## ★平成二十八年度第二回技術開発委員会を開催

### ◆有識者委員から貴重な助言を頂きました！

◆十二月十三日、今年度二回目の技術開発委員会（外部有識者七名で構成）を局二階会議室で開催しました。

◆今回の審議課題は、完了課題二課題と新規課題一課題の併せて三課題となっています。

◆課題名は、

①下刈省略化によるシカ食害低減効果の検証について（完了）

②小型囲いわなによるシカ誘引・捕獲の向上と普及の推進～現地状況に対応した設置方法と普及～（完了）

③再造林地でのノウサギ食害対策について（新規）

◆委員会は、座長である田口森林整備部長に進行頂き、各課題を担当するセンター職員の説明の後、委員の皆様から意見を頂きました。

挨拶する田口森林整備部長

審議課題のプレゼンの様子

## ◆各委員からの主な意見

◆①の完了課題では、

・無下刈区の根元調査が下刈区より劣っている。下刈り省略によると、植栽木の成長への影響も検証・分析する必要がある。

・下草が繁茂している時季は食害が少ないが晩秋から冬場に掛けて食害が大きくなる傾向にあり、検証のためにも冬場の調査も引き続き実施してもらいたい。

・下刈区が被害が多いが、次は下刈区と無下刈区の施業を入れ替えてみて、被害防護効果を検証できるかどうか。

◆②の完了課題では、

・小型囲いわなは、シカ捕獲に有効で、大いにPRすべき。

・マニュアルは、一般の人でも、職員と同じ取扱いができるように具体的な記述とされたい。

・マニュアルは詳細版と解りやすい要約版を作成してもらいたい。

・要点を記した一枚ペーパー程度の、餌付けによる全頭捕獲による長期餌付けによるシカの出没箇所での現調に係るデータは貴重であり、継続調査されたい。

◆③の新規課題では、

・試験項目が多岐にわたることから、三年で全ての計画実施は困難、調査内容の絞りこみが必要。

・被害及び対策の蓄積があり、拡大造林時のノウサギ被害は、過去の被害調査研究の情報を収集・整理し、使用可能な手法などを検討すべき。

・ノウサギ被害の実態をシカと区分して調査整理すべき。

等々、多くの意見が出されました。

◆今後当センターでは、これらの意見を踏まえ、技術開発を実施していく予定です。